

～ヤクーツク～ ～ヤクーツク～

ヤクーツクはロシア連邦に属するサハ共和国の首都で、レナ川に面する河湾を持っています。人口は 22 万人。かつては、ほとんど人の住まない土地で、地下 200mにも達する永久凍土の上に (1632 年頃から)建設された町です。サハ共和国(ヤクーチヤ)は北東アジアの殆どの領土を占めており、サハ共和国は北南 2000 キロ、東西 2500 キロに亘って広がっているヤクーツク市はモスクワから 6875 キロ、ウラジオストクから 1814 キロ離れています。気候は、冬と夏は温度の差が極めて著しく、夏の温度は 40℃、冬の温度は-60℃となり、その変動は 100℃。サハ共和国のベルホヤンスク市に北半球の寒極が位置しており、そこは最低温度(-67.8℃)が記録されたことがあります。また、自然がまだ原生状態のままであり、驚くほどの多種多様な動植物を誇る世界に少ない地域の一つです。ツンドラ地帯にコケやトナカイゴケの他、手のひらに置かれるほど小さいカンバの低木、そしてタイガ地帯にマツ、トウヒ、カラマツ、紅マツ、シラカバ、ヤマナラシなどが生育しています。またムース、キツネ、クロテン、クズリ、シロクマ、ヒグマ、セイウチ、アカシカ、トナカイ、ジャコウジカ、ユキヒツジなどが、果てしないタイガ・ツンドラ地帯に住んでいます。



○ヤクーツク国立博物館

シベリア・極東地域で最も古い博物館のひとつで、1891 年につくられました。



ヤクーツク国立博物館



永久凍土研究所博物館

○永久凍土研究所博物館

1961 年に建てられた博物館。永久凍土は夏でも表面付近が溶けるだけの、1 年中凍てついた大地です。地下 12 メートルにある凍土が見学できます。

○マンモス博物館

1991 年に建てられた博物館。マンモスの全骨格化石や復元像をはじめ、古代サイの骨格標本なども展示されています。



マンモス博物館



ヤクーツクアートミュージアム

○ヤクーツクアートミュージアム

ヤクーツク美術館は、1928 年 11 月にオープンし、コレクションはほとんどがヤクーツクの作品です。

○ホムズ(ヴァルガン)音楽博物館

ホムズ(ヴァルガン)は最も古い楽器のひとつであり、ミステリアスな音色です。この博物館では 400 以上のホムズ(ヴァルガン)を展示しています。



○ニコラエフスカヤ教会

1852年に建てられたロシア正教会。サハ独立の先駆者であり、スターリンに殺されたイアン・シュエーロフのお墓があります。



ニコラエフスカヤ教会



スバソ・プレオブラジェンスキー寺院

○スバソ・プレオブラジェンスキー寺院

1999年に新しく建設されたロシア正教の寺院。

○コサック砦

開拓時代のコサック兵たちの砦を再現したのもの。



コサック砦



レナ川

○レナ川

北極圏にまで広がるスケール大きさ、両岸に広がるタイガの森などシベリアの奥地にいることが実感できます。レナ川クルーズの最大の見所はレナ川の柱群レンスキェスタルピ。高さ 100メートルを超える石灰岩の川岸が侵食し幻想的な景観を作り出しています。